

1/28

これからも技術を磨く 自動車整備全国大会の優勝を報告

自動車整備の技術を競う全日本自動車整備技能競技大会で優勝した湧別町農協車両整備工場の広井晃彦さんが、湧別町農業協同組合の上田組合長とともに刈田町長を訪問し、昨年11月に東京で開催された全国大会での優勝を報告しました。

広井さんは、「日本一という称号はプレッシャーにもなりますが、それに負けないように整備の技術を磨いていきたい」と今後の意気込みを話しました。

湧別庁舎



2人1チームで実車修理や接客対応などの技術を競う全国大会で優勝した広井さん（写真中央）

1/29

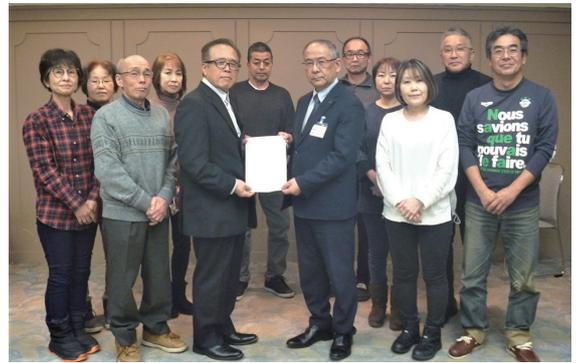
町民によるまちづくりを目指して 第3期 第10回自治推進委員会を開催

答申内容の最終確認が行われ、答申書が町に提出されました。

令和4年9月から全10回にわたる会議を重ね、条例に基づいた取組内容の点検と条例改正の必要性について審議を行ってきました。

答申書は、自治基本条例に基づく情報発信などの運用に対し、4つの提言がまとめられています。今後、これらの提言をもとに町の取組内容の改善を検討します。

文化センターTOM



安瀬委員長から答申書が提出されました

<条例の運用に対する4つの提言>

提言① 多様な媒体による情報発信

若年層へのアプローチに効果的と考えられるSNSを活用した情報発信の検討が必要。

提言② 魅力的な情報発信

記事を端的な短い文章で記載し、重要な部分は特に目立つように工夫が必要。また、町民の参加感を高めるため、身近で注目を集める事業は、中間報告のような適時情報を発信できないか検討が必要。

提言③ より多くの町民参加

意見交換会や懇談会では、若者の参加を推進するだけでなく、幅広い世代に参加いただけるように努めることが必要。

提言④ 交流事業の推進

国内外での交流事業は、コミュニケーション能力が養われ、世界観が広がり、人生の大きな財産となることから、今後も可能な限り継続するべき。

1/31

作文コンテストで優秀賞 「社会を明るくする運動」道東地区作文コンテスト

次世代を担う小中学生に、日常の家庭生活や学校生活の中での体験をもとに、犯罪・非行などについて考えたことや感じたことを作文に書くことで、「社会を明るくする運動」に対する理解を深めてもらうため、作文コンテストが実施され、道東地区57点の応募の中から、秋葉陽向（ひなた）さん（開盛小5年）が優秀賞を受賞しました。また、安部葡萄（ほのか）さん（ゆうべつ学園9年）と小形ひなのさん（ゆうべつ学園9年）の2人が佳作に選ばれました。

上湧別庁舎応接室



優秀賞を受賞した秋葉さん



ホームページでは随時まちの話題を掲載しています



(有)中谷牧場 (計呂地)



育成牛舎やロボット搾乳機など牧場内の施設を案内

1/
31

地域が輝く取り組みを

なおみちカフェ開催

なおみちカフェとは、鈴木直道北海道知事が地域づくり実践者などから直接取り組みを聞き、広く発信していく北海道の取り組みです。

本町では、(有)中谷牧場の飼育環境などを見学したほか、同社により設置されたARVO 24H storeで懇談が行われ、「地場産品の6次産業化だけでなく、地域コミュニティの維持に向けたとても良い事例です。道としても引き続き、酪農振興や地方創生に取り組んでいきます」と、深いご理解をいただきました。



北海道ホームページ

芭露スケートリンク



保育所・こども園、小学校、義務教育学校などから約70人の選手が出場

2/
1

1位になるぞ!

第55回湧別町スケート大会

レースは未就学児、小学生、中学生・一般の部に分かれて50メートルから500メートルまでの種目で行われ、最後まで勝負が分からない白熱したレース展開に、会場に駆け付けた保護者や友人たちからたくさんの声援が送られました。

また、みんなで勢いよくリンクにダイブして距離を競い合う「人間ダイビング」では、少しでも遠くに一生懸命手を伸ばす様子に会場は笑顔に包まれました。

中湧別総合体育館



各自治会を中心に編成した7チーム約90人が参加

2/
2

地域の絆を深める

町民300歳バレーボール大会

湧別町上湧別バレーボール協会（大槻剛敏会長）主催の、「上湧別バレーボール協会杯 町民300歳バレーボール大会」が開催されました。

仕事終わりなどに集まって練習してきた地域のメンバーたちは練習の成果を存分に発揮。

優勝した「錦チーム」も、残念ながら負けてしまった各チームも、普段はなかなか顔を合わせる事のない方々同士、大会終了後の懇親会を含めてこれまで以上に絆が深まる1日となりました。

町内の保育所・認定こども園



子どもたちに日本の伝統行事「豆まき」を楽しんでもらいたいと毎年行っています

2/
3

鬼はそと! 福はうち!

商工会青年部が豆まかれ訪問

商工会青年部（竹林直人部長）による恒例の節分行事「豆まかれ訪問」が行われました。

恐ろしい鬼に扮した青年部員が登場すると、子どもたちは大パニックになりましたが、逃げまどいながらも「鬼はーそとー!」と勇敢に豆を投げて鬼に立ち向かいました。

豆まきにより降参した鬼たちはプレゼントを配り、今年の鬼退治も無事終了しました。



2/
4

優しい気持ちで接してね

上湧別小学校で認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座が上湧別小学校1～4年生を対象に行われ、認知症とは何か、その症状や対応方法を学びました。小学校での開催は初の試みです。

3・4年生のクラスでは、指を固定して動きを制限したり、フィルム越しに周りを観察したりして、高齢者が生活する上でどのような苦労があるかを体験しました。

児童は、「困っているお年寄りの人がいたら助けたいと思った」と話し、認知症について理解が深まる時間となりました。

上湧別小学校



視界が悪くなるフィルムをつけて高齢者の見え方を疑似体験

2/
5

地域の魅力を引き出すイベントと評価

サロマ湖100kmウルトラマラソンがスポーツツーリズム賞を受賞

観光庁、文化庁、スポーツ庁が合同で実施するスポーツ文化ツーリズムアワード2024において、「サロマ湖100kmウルトラマラソン」が「スポーツツーリズム賞」を受賞しました。

スポーツと文化を結び付け、新しい観光資源として地域の魅力を引き出すものと認められたもので、授賞式には実行委員会副実行委員長である因副町長が出席しました。

今年は第40回記念大会を迎える大会で、6月29日（日）に開催されます。

東京都



室伏広治スポーツ庁長官より表彰を受けました

2/
15

大規模災害にふれて

地域の支え合い活動を考える学習会 特別編

講演では、湧別町生活支援コーディネーターの海谷政貴さんが災害ボランティアセンターの職員として被災地で撮影した写真などを交えて、災害発生から2カ月後の避難所の状況や、被災者の声などを紹介しました。瓦礫の下に埋もれたまま放置された自動車や、土砂が家の天井近くまで襲った形跡など、衝撃的な写真が紹介されるたび、参加者は深いため息を漏らしました。

海谷さんは、日頃から「地域とのつながりと、助けてと言える“受援力”」を培っていく事が重要と訴えました。

文化センターTOM



能登半島地震や秋田・山形の大雨災害で直面したリアルな現場体験を伝える講演が行われました

広告

相続手続

相続登記義務化、祖父母兄弟姉妹相続など
むずかしい手続き、お問い合わせください

寺西行政書士事務所

Tel 090-6211-8230

湧別町北兵村一区101番地11 旧てらにし商店



五鹿山スキー場

レストラン営業中 **ご家族みんなで お越しく下さい**
FREE Wi-Fi 完備



営業時間、期間・コースは、気象状況・ゲレンデ
コンディション等により変更となります。

湧別町北兵村二区 TEL (01586) 2-3111 沢口産業株式会社



イベント・行事スケジュール

3月10日から4月20日までに行われるイベントや行事をお知らせします。

3月14日(金)	芭露学園卒業式 (8:40 芭露学園) 上湧別中学校卒業式 (9:00 上湧別中学校) ゆうべつ学園卒業式 (9:10 ゆうべつ学園) 運動・トレーニング指導 (10:00 湧別総合体育館)
15日(土)	わくわく体験塾「閉塾式」(10:00 文化センターさざ波)
16日(日)	カルチャー教室「ミニボトルフラワーワークショップ」(10:00 文化センターTOM)
19日(水)	中湧別小学校卒業式 (10:00 中湧別小学校)
21日(金)	富美小学校卒業式・閉校式 (10:00 富美小学校) 上湧別小学校卒業式 (10:00 上湧別小学校)
24日(月)	開盛小学校卒業式・校旗返還式 (8:30 開盛小学校) 上湧別中学校閉校式 (10:15 上湧別中学校) 中湧別小学校閉校式 (11:10 中湧別小学校) 上湧別小学校閉校式 (13:15 上湧別小学校)
27日(木)	運動・トレーニング指導 (10:00 湧別総合体育館)
28日(金)	認定こども園みのり卒園式 (9:00 認定こども園みのり) 湧別認定こども園卒園式 (10:00 湧別認定こども園) 芭露保育所修了式 (11:00 芭露保育所)
4月4日(金)	認定こども園みのり入園式 (9:00 認定こども園みのり) 湧別認定こども園入園式 (10:00 湧別認定こども園) 芭露保育所入所式 (11:00 芭露保育所)
7日(月)	上湧別学園開校式 (8:30 上湧別学園) ゆうべつ学園入学式 (11:00 ゆうべつ学園) 芭露学園入学式 (13:20 芭露学園) 上湧別学園入学式 (13:30 上湧別学園)
8日(火)	湧別高校入学式 (13:30 湧別高校)
19日(土)	上湧別学園開校記念式典 (9:00 上湧別学園) わくわく体験塾「入塾式」(10:00 文化センターさざ波)

QRコードの読み取り方



広報ゆうべつでは、町ホームページなどで詳細を確認できるよう、QRコードを掲載しています。

カメラや読み取りアプリを起動する



カメラをQRコードに向ける



表示されたアドレスを押す



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

広告

カーライフプラン
金利割引実施中

所定の審査がございます。商品内容等、詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。

ふれあい さわやか
遠軽信用金庫

温まり感が違います!!
木曜日は **薬草湯** の日

3月の薬草湯は
ローズマリー・オレガノ・
ドクダミ配合の薬草湯です

やわらかな香りにつつまれて
温泉で春を感じませんか?

かみゆうべつ温泉 **チューリップの湯**
湧別町中湧別中町 TEL(01586)④-1126 沢口産業株式会社

令和6年 救急・救助 状況

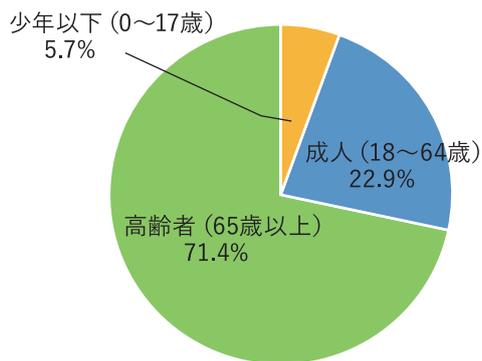
◆湧別町の救急出場の概況

令和6年の遠軽地区3町（湧別町・遠軽町・佐呂間町）の救急出場件数は1,775件（前年より63件増）、搬送人員は1,681人（前年より98人増）でした。

そのうち、湧別町で出場した件数は424件（前年より3件減）、搬送人員は402人（前年より3人増）となり、令和4年から出場件数は減少傾向です。

事故種別	急病	一般負傷	転院搬送	交通事故	労働災害	運動競技	自損行為	水難	その他	合計
出場件数	263	74	47	19	13	3	2	2	1	424
不搬送件数	14	4		3	1		1		1	24
搬送人員	250	70	47	17	12	3	1	2		402

※1件の出場で複数人搬送している場合があります。



年齢区分別では「高齢者（65歳以上）」を搬送した割合が全体の約70%以上を占めています。

現在、少子高齢化が進み、医療従事者の不足により医療機関の規模が縮小しています。そのため、救急隊員の観察結果から病態や症状などによっては本人やご親族の希望に添えない医療機関への搬送や、遠軽地区以外への搬送をする場合があります。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

◆湧別町の救助出場の概況

令和6年の遠軽地区3町（湧別町・遠軽町・佐呂間町）の救助出場件数は21件（前年より2件減）、救助人員は12人（前年より1件増）となりました。

そのうち、湧別町で出場した件数は9件で、事故種別では「交通事故」が7件、次いで「水難事故」が2件となっています。

湧別町内の交通事故の特徴として、冬期間は吹雪によるホワイトアウト（視界不良）や吹き溜まりでのスリップ事故、アイスバーン（路面凍結）による交差点での出会い頭事故が多発しています。

事故種別	交通事故	水難事故	その他	合計
出場件数	7 (16)	2 (2)	0 (3)	9 (21)
活動件数	4 (8)	1 (1)	0 (2)	5 (11)
救助人員	5 (10)	1 (1)	0 (1)	6 (12)

※（ ）は3町での数です。

遠軽地区広域組合消防本部では、複雑・多様化する災害や事故に対し、的確に対応するため訓練・研修を重ねるとともに、より高度な知識・技術の習得に努め、引き続き救助体制の充実・強化を図っていきます。

令和6年 火災発生 状況



◆遠軽地区3町(遠軽・湧別・佐呂間)の火災状況

火災発生件数	19件 (うち 湧別町4件)
建物火災	10件 (うち 養畜舎4件)
車両火災	2件
その他の火災	7件

※死者1人、負傷者3人

◆住宅用火災警報器を点検しましょう

住宅用火災警報器の設置が義務化されてから10年以上が経過しました。

多くの機器は交換時期を迎えており、電池切れや故障が確認されています。

住宅火災による死者の半数は「逃げ遅れ」が原因です。大切な家族の命を守るためにも、住宅用火災警報器を設置し、適切な点検を行いましょう。



◆3町の火災発生状況

原因別の上位	配線器具	3件
	たばこ	3件
	ストーブ	2件

※火気の取扱いの不注意や始末から多くの火災が発生しています

◆3町の火災発生状況の詳細(令和4年~令和6年)

年別	出火件数				焼損状況				損害額(千円)	死者	負傷者	焼損棟数	り災世帯数	り災人員数		
	建物		林	車	その他	床面積(m ²)	表面積(m ²)	林							車	
	全焼	半焼														部分焼
R6	2	2	1	5	2	7	19	1,173	31	2	31,028	1	3	15	4	9
R5	3		2	5	5	8	23	246	21	7	10,020	1	3	12	8	8
R4	2		1	3	4	4	14	300	61	5	42,646	2	3	10	7	13

配線器具(テーブルタップ、延長コード、マルチタップなど)による事故が増えています

全国的に5年間で2倍になっています。ほこりを放置したり、机や椅子の脚で踏んだり、最大消費電力を超えて使用したりすると、火災につながるおそれがあります。器具の清掃や使用状況を定期的に確認し、事故を未然に防ぎましょう。

身近にある火災の原因

●放火・放火疑い

家の周りに置かれた不用品やゴミステーションなどに放火される火災が全国各地で発生しています。普段から放火されない環境作りを行いましょう。



●たばこ



たばこの火種は、小さな火でもくすぶり続け、数時間経過してから燃え上がることがあります。たばこの始末は喫煙者のマナーです。

●コンロ

鍋を火にかけていることを忘れてしまい、火災に至るケースが多いです。火のついたコンロから離れるときはしっかり火を消しましょう。



●配線器具

電気配線のショートやトラッキングによりコンセントから出火することがあります。定期的に清掃を行いほこりを取りましょう。



●火遊び



ライターやマッチは子どもの手の届かないところで保管しましょう。小さな子は好奇心旺盛なので特に注意しなければなりません。

●ストーブ

ストーブの周りに燃えやすいものは置いたり干したりしていませんか? ストーブから火災に至るケースは毎年のように発生しています。ご自宅のストーブを今一度、点検しましょう。



後期高齢者医療制度

～負担を軽減～ **高額介護合算療養費**
 ～健康管理に～ **医療費通知**

医療と介護の両方を利用している世帯の負担を軽減するため「高額介護合算療養費」という制度があり、該当すると自己負担額が軽減されます。

【お問い合わせ先】
 北海道後期高齢者医療広域連合 TEL011-290-5601
 湧別町役場 健康こども課医療グループ TEL5-3765

高額介護合算療養費

同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度および介護保険から支給されます。

◆対象となる方



◆自己負担限度額表

【1年分の自己負担額の計算期間:R5.8.1~R6.7.31】

負担割合	区分		自己負担額の合計の限度額
3割	現役並み所得者	課税所得 690万円以上	212万円
		課税所得 380万円以上	141万円
		課税所得 145万円以上	67万円
2割	一定以上所得者		56万円
一般			
1割	住民税非課税世帯	区分Ⅱ(※1)	31万円
		区分Ⅰ(※2)	19万円

◆手続き方法

該当となる方には、申請書が送付されます。下記申請先で手続きをしてください。なお、次の方は対象となりません。

- 後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額が0円の方。
- 支給額が500円以下の場合。

◆申請先

健康こども課（湧別庁舎）、住民税務課（上湧別庁舎）、中湧別出張所

※1 世帯全員が住民税非課税で区分Ⅰに該当しない方
 ※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）の方

医療費通知を全受診者へ送付しています

対象期間に医療機関などを受診したすべての被保険者の皆さまに、医療費総額などをお知らせする「医療費通知」を送付しています。年2回（1月と2月）発行されます。診療日数などに間違いがないか確認しましょう。

【イメージ図】

受診年月	診療を受けた医療機関名称等	診療区分	日数	医療費の総額	自己負担額	食事療養・生活療養費		
						回数	費用額	標準負担額
令和6年1月	〇〇病院	医科外来	1	18,000	1,800			
令和6年2月	××薬局	調剤	1	10,000	1,000			
令和6年3月	△△病院	医科入院	5	202,000	20,200	15	11,490	6,900
合計				230,000	23,000		11,490	6,900

医療費通知の活用方法

- ①所得税・住民税の申告で医療費控除を申告する際に「医療費の明細書」として使用できます。※申告に関することは税務署・住民税務課にお問い合わせください。
- ②医療費の記録が一目で分かるため、ご自身の健康状態の把握や健康管理に活用できます。
- ③健康診査など、皆さまの健康保持・増進に役立つ情報が記載されています。